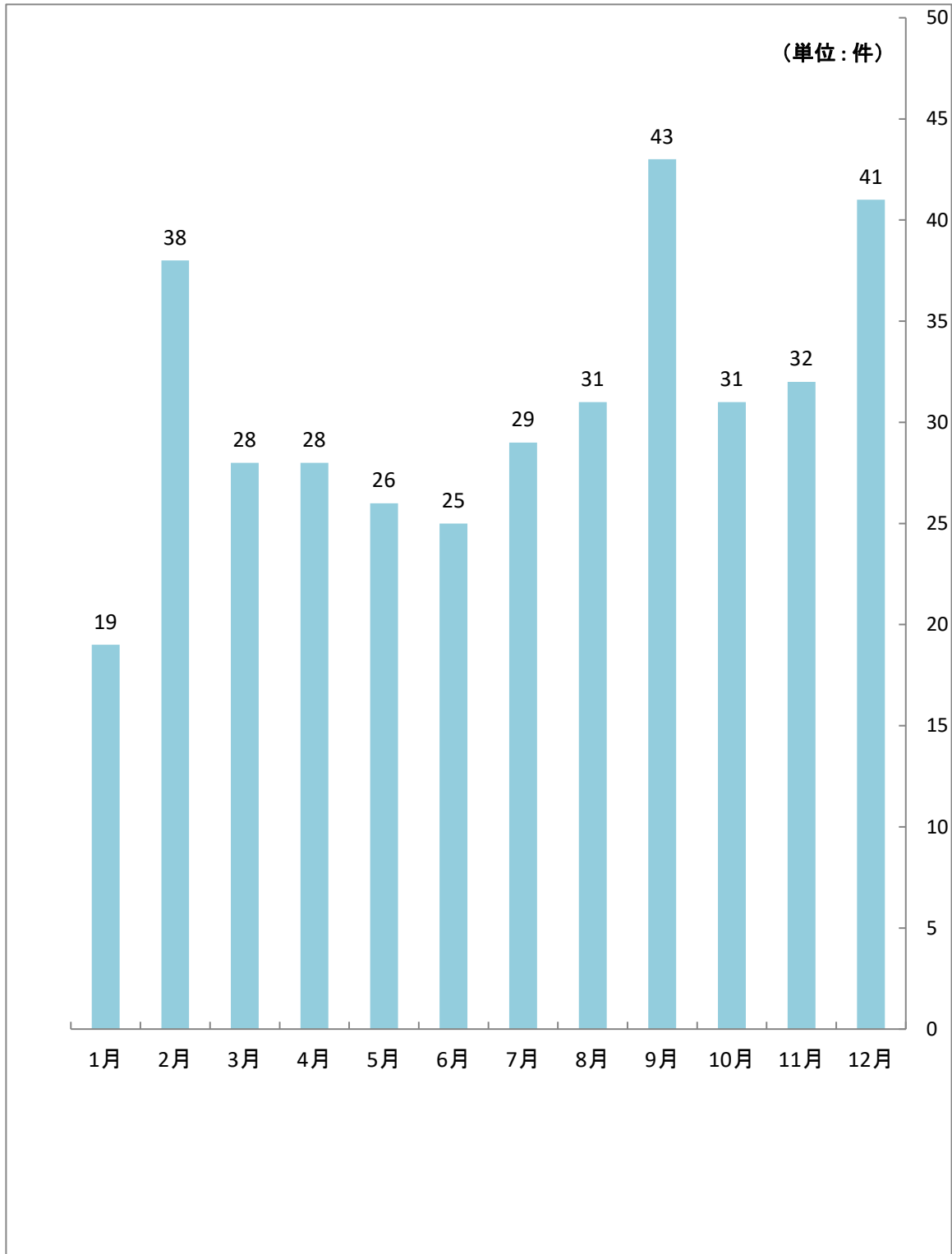


18. 保安及び災害

月別交通事故発生件数（令和2年）



1. 刑法犯発生件数

(単位:件)

年	平成28	29	30	令和元	2
総数	1,140	1,166	1,046	895	730
凶悪犯	8	8	6	6	6
殺人	1	1	1	2	1
強盗	3	2	2	1	0
放火	3	1	1	1	1
強制性行等	1	4	2	2	4
粗暴犯	89	104	137	108	109
暴行	44	73	96	69	45
傷害	38	22	37	32	45
脅迫	2	8	3	3	16
恐喝	5	1	1	4	3
窃盗	738	824	697	609	469
知能犯	34	40	29	28	18
詐欺	31	33	25	17	11
横領	2	4	3	4	5
偽造	1	3	1	6	2
汚職	0	0	0	1	0
背任	0	0	0	0	0
風俗犯	25	20	21	6	7
賭博	0	0	0	0	0
わいせつ行為	25	20	21	6	7
その他の刑法犯	246	170	156	138	121

(注)1.本表は、帯広警察署管内(帯広市、音更町、幕別町、芽室町、上士幌町、士幌町、更別村、中札内村)についての数値。

以下2. 3. 4. 5. 6表についても同様。

(注)2.偽造の人員は、罪種の性格上、詐欺に含まれる。

<資料> 帯広警察署(生活安全課)

2. 不良行為少年補導人員数

(単位：人)

年	平成28	29	30	令和元	2
総数	801	878	783	756	637
飲酒	34	81	52	68	52
喫煙	171	232	185	192	154
薬物乱用	3	0	1	0	0
刃物等所持	3	2	2	3	0
粗暴行為	133	86	59	46	55
金品不正要求	1	1	3	0	2
深夜徘徊	227	222	188	178	136
深家出	34	34	30	14	19
無断外泊	9	12	13	7	1
不健全性行為	11	10	7	11	14
性的いたずら	1	0	0	2	0
不良交友	0	0	0	0	0
怠学	17	16	13	7	5
不健全娯楽	142	168	216	226	193
金品持出	7	9	1	2	5
暴走行為	8	5	13	0	1
その他の	0	0	0	0	0

(注)表1のとおり、帯広警察署管内についての数値。

<資料> 帯広警察署(生活安全課)

3. 少年刑法検挙件数

(単位：件)

年	平成28	29	30	令和元	2
総数	36	49	36	33	41
凶悪犯	2	0	0	1	1
粗暴犯	6	9	8	5	1
窃盗犯	15	34	24	19	35
知能犯	0	0	0	1	0
風俗犯	0	0	0	0	0
その他の	13	6	4	7	4

(注)表1のとおり、帯広警察署管内についての数値。

<資料> 帯広警察署(生活安全課)

4. 月別交通事故発生数

(単位：件)

年	平成28	29	30	令和元	2
総 数	398	347	347	287	371
1 月	19	36	19	18	19
2 月	27	32	25	31	38
3 月	28	32	32	18	28
4 月	32	18	20	27	28
5 月	16	24	20	16	26
6 月	44	28	31	16	25
7 月	28	23	32	26	29
8 月	34	22	36	21	31
9 月	40	27	22	25	43
10 月	52	42	34	26	31
11 月	30	26	43	28	32
12 月	48	37	33	35	41

(注)表1のとおり、帯広警察署管内についての数値。

<資料> 帯広警察署(交通課)

5. 違反別交通事故発生数

(単位：件)

年	平成28	29	30	令和元	2
総 数	398	347	347	287	371
酒 酔 い 運 転	0	0	0	1	0
信 号 無 視	34	32	18	23	25
通 行 区 分 違 反	0	0	1	1	1
横 断 等 禁 止 違 反	0	0	0	0	3
車 間 距 離 不 保 持	0	0	0	0	0
追 越 し 違 反	0	0	0	0	0
踏 切 通 行 違 反	0	0	0	0	0
左 右 折 違 反	0	0	0	1	4
横 断 歩 行 者 等 妨 害 等	9	5	11	14	16
徐 行 違 反	0	0	1	0	2
一 時 停 止 違 反	33	33	27	24	49
過 労 運 転	0	0	0	0	0
最 高 速 度 違 反	0	0	0	0	1
交 差 点 安 全 通 行 違 反	21	13	19	8	15
通 行 禁 止 違 反	0	0	0	0	0
安 全 運 転 義 務 違 反	267	250	250	190	229
そ の 他	34	14	19	23	23
酒 気 帯 び 運 転 (内 数)	(10)	(5)	(1)	(1)	(4)
無 免 許 運 転 (内 数)	(0)	(0)	(0)	(1)	(3)
歩 行 者 側 の 違 反	0	0	1	2	3

(注)1.表1のとおり、帯広警察署管内についての数値。

(注)2.酒気帯び運転、無免許運転数は内数。

<資料> 帯広警察署(交通課)

6. 年齢別死傷者数(交通事故による)

(単位:人)

年		平成28	29	30	令和元	2
総数	死者	3	5	3	4	6
	傷者	461	379	389	317	419
3歳未満	死者	0	0	0	0	0
	傷者	0	1	1	1	4
3～5歳	死者	0	0	0	0	0
	傷者	11	3	1	1	3
6～12歳	死者	0	0	0	0	0
	傷者	12	9	5	9	10
13～15歳	死者	0	0	0	0	0
	傷者	5	9	9	5	13
16～19歳	死者	0	0	0	0	2
	傷者	23	21	25	12	27
20～29歳	死者	0	0	0	0	0
	傷者	75	64	58	59	57
30～39歳	死者	0	0	1	0	0
	傷者	105	88	72	52	76
40～49歳	死者	0	2	0	0	0
	傷者	90	88	79	76	90
50～59歳	死者	2	1	0	0	0
	傷者	68	46	67	43	65
60～69歳	死者	1	1	0	1	0
	傷者	49	36	38	27	34
70歳以上	死者	0	1	2	3	4
	傷者	23	14	34	32	40

(注)表1のとおり、帯広警察署管内についての数値。

<資料> 帯広警察署(交通課)

7. 火災概況

年	発 生 件 数 (件)						焼損棟数 (棟)	り災世帯数 (世帯)	死傷者(人)		建物焼損 面積(m ²)	損 害 額 (千円)
	総数	建物	車両	林野	その他	爆発			死者	傷者		
平成												
28	54	30	11	-	13	-	37	22	3	9	1,096	63,066
29	32	23	2	-	7	-	27	18	2	6	556	231,446
30	33	24	4	-	5	-	32	20	1	6	630	47,650
令和												
元	49	31	4	1	13	-	38	22	2	3	1,083	35,498
2	32	23	3	-	6	-	37	17	4	8	1,424	68,762

<資料> とかち広域消防事務組合

(注)表の値は各年末時点での速報値。

8. 原因別火災発生件数

(単位: 件)

年	平成28	29	30	令和元	2
総 件 数	54	32	33	49	32
たばこ	6	4	2	1	5
風呂	7	1	5	2	1
風呂	-	-	-	1	-
焼却炉	-	-	-	-	-
ストーブ	-	1	3	-	-
ボイラー	-	6	3	6	3
煙突	-	-	-	-	-
排気	1	-	-	2	1
電気機器	1	2	-	-	-
電気装置	1	-	3	1	-
電灯	1	-	-	-	-
電話等の配線	2	1	2	1	3
内燃機	-	-	-	-	-
配線器具	-	-	-	1	-
火遊び	1	-	-	1	-
マッチ	1	1	1	-	1
たき火	-	-	-	-	-
溶接機	1	1	2	-	-
灯機	1	-	-	-	-
衝突	-	-	-	-	-
取火	2	-	-	-	-
火入れ	1	3	-	-	-
放火	8	1	3	1	3
放火の疑い	1	-	-	1	-
その他	9	8	-	14	9
不明	10	3	9	17	6

<資料> とかち広域消防事務組合

(注)表の値は各年末時点での速報値。

9. 火災種別・建物用途別火災発生件数

(単位：件)

年		平成28	29	30	令和元	2
建物火災		30	23	24	31	23
住宅	専用住宅	10	8	8	11	14
	併用住宅	-	3	-	-	-
	共同住宅	8	4	8	6	2
事業所等	劇場・集会場	-	-	-	-	-
	遊技場	-	-	-	-	-
	飲食店	1	-	1	4	-
	物品販売店	-	-	-	1	-
	旅館・ホテル	-	-	-	-	-
	病院・福祉施設	2	-	-	1	-
	学校	-	-	-	-	-
	工場・作業所	4	2	1	2	1
	駐車場	-	-	1	1	-
	倉庫	3	3	2	2	5
	事務所	1	2	-	1	1
	複合用途	1	1	3	2	-
	その他	-	-	-	-	-
車両火災		11	2	4	4	3
林野火災		-	-	-	1	-
その他火災		13	7	5	13	6
爆発		-	-	-	-	-
総件数		54	32	33	49	32

<資料> とかち広域消防事務組合
 (注)表の値は各年末時点での速報値。

10. 救急出動件数

(単位：件)

年	総数	交通	急病	一般	労災	自損	運動	加害	水難	火災	その他	自然災害
平成												
28	6,996	419	4,342	999	49	95	73	28	6	43	937	5
29	7,441	387	4,645	1,199	42	61	60	31	5	42	969	-
30	7,630	417	4,775	1,147	57	76	60	21	2	48	1,027	-
令和												
元	7,801	381	4,896	1,181	69	93	72	26	1	62	1,020	-
2	6,934	344	4,283	1,070	57	84	30	28	3	33	1,002	-

<資料> とかち広域消防事務組合
 (注)表の値は各年末時点での速報値。

11. 近年の主な災害発生記録

(1) 地震

年 月 日	震 央	規 模 <small>(単位:マグニチュード)</small>	被 害 状 況
昭和27年 3月4日	十勝沖	8.2	十勝沖地震。震源地は襟裳岬沖70km。十勝管内罹災戸数9,507戸、罹災者数53,911人、死者5人、重軽傷者数363人などの被害。
平成 5年 1月15日	釧路沖	7.8	20時06分発生。釧路市強震、帯広市中震。道東を中心に鉄道、通信被害。津波による港湾施設に被害。災害対策本部設置。
平成15年 9月26日	十勝沖	8.0	4時50分発生。幕別町・釧路町など震度6弱。帯広市震度5強。行方不明者2人、負傷者847人、全壊116棟、半壊368棟などの被害。
平成16年11月29日	釧路沖	7.1	3時32分発生。弟子屈町・釧路町・別海町震度5強。帯広市震度4。負傷者52人、住家一部破損4棟などの被害。
平成16年12月6日	釧路沖	6.9	23時15分発生。厚岸町震度5強。帯広市震度3。負傷者12人、校舎一部損壊などの被害。
平成17年 1月18日	釧路沖	6.4	23時9分発生。厚岸町震度5強。帯広市震度3。負傷者1人、校舎一部損壊などの被害。
平成17年 8月16日	宮城県沖	7.2	11時46分発生。宮城県震度6弱。帯広市震度3。負傷者100人、住家全壊1棟、住家一部破損984棟などの被害。
平成20年 7月24日	岩手県北部	6.8	0時26分発生。八戸市などで震度6弱。帯広市震度3。死者1人、負傷者211人、住家全壊1棟、住家一部破損379棟などの被害。
平成20年 9月11日	十勝沖	7.1	9時20分発生。浦幌町、大樹町などで震度5弱。帯広市震度4。
平成23年 3月9日	三陸沖	7.3	11時45分発生。宮城県震度5弱。帯広市震度3。負傷者2人、住家一部破損1棟などの被害。
平成23年 3月11日	三陸沖	9.0	14時46分発生。2011年東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)。栗原市震度7。帯広市震度4。死者、行方不明者計18,500人以上、負傷者6,000人以上、住家全壊120,000棟以上。10m超の大津波が発生し、北海道～四国の太平洋沿岸に押し寄せ甚大な被害。
平成23年 4月11日	宮城県沖	7.2	23時32分発生。仙台市などで震度6強。帯広市震度3。死者4人、負傷者296人などの被害。
平成23年 11月24日	浦河沖	6.2	19時25分発生。浦河町震度5弱。帯広市震度3。
平成24年 12月7日	十勝沖	7.4	17時18分発生。関東、東北の太平洋側で震度5弱。帯広市震度3。死者1人、負傷者15人。
平成25年 2月2日	十勝地方中部	6.4	23時17分発生。浦幌町震度5強、帯広市震度5弱。負傷者1人。
平成30年 9月6日	胆振地方中東部	6.7	3時7分発生。平成30年北海道胆振東部地震。厚真町震度7、帯広市震度4。死者42人、負傷者762人。(平成31年1月16日現在)国内で初めて大規模停電(ブラックアウト)が発生し、道内全域297万戸が停電。帯広市では災害対策本部を設置し、市内12ヶ所に一次休憩所を開設。

(2) 風 害

年 月 日	被 害 状 況
平成14年10月1日～2日	帯広市の最大瞬間風速32.3m/s。街路樹、防風林倒木、農業施設などの被害。
平成16年 4月21日	帯広市の最大瞬間風速27.0m/s。民家屋根トタン剥離、街路樹、公園樹木倒木などの被害。
平成16年9月7日～8日	帯広市の最大瞬間風速20.5m/s。街路樹、公園樹木倒木、農業施設などの被害。
平成18年 3月20日	帯広市の最大瞬間風速27.3m/s。街路灯倒壊1件、倒木・枝折れ2件などの被害。
平成20年 5月11日	帯広市の最大瞬間風速8.8m/s。桜まつりの会場内で局地的に突風が発生。1名軽傷。

(3) 水 害

年 月 日	被 害 状 況
平成10年9月15日～16日	帯広市の総雨量120mm。管内南部を中心に総雨量300mmを超えた。浸水、山がけ崩れの被害。災害対策本部設置。
平成18年 6月24日	帯広市の総雨量25mm。路面崩落により市道通行止等の被害。
平成23年9月1日～8日	帯広市の総雨量128mm。十勝川洪水予報発表。内水氾濫、高速道路道東自動車道、国道、道道の通行止やJR等交通機関の運休。
平成28年8月30日～31日	8月17日～23日に3つの台風(7号、11号、9号)が北海道に上陸。30日から31日にかけて北海道に接近した台風10号の影響による大雨。29日～31日の3日間の雨量は、帯広測候所で129.5mmであったが、市内山間部では500mm以上を記録し、中島町で戸蔭別川氾濫。市街地では木賊原樋門周辺での内水氾濫、バラト地区での地下水上昇による冠水。住家被害は床上浸水3棟、床下浸水24棟。十勝川・札内川の河川敷の運動施設冠水。畑の冠水447ha。橋梁崩落2橋。道路被災35箇所。その他倒木被害等多数。災害対策本部設置。札内川沿い、十勝川沿いに避難勧告発令。市内20箇所の避難所開設。十勝19市町村に災害救助法適用。激甚災害指定。

(4) 雪 害

年 月 日	被 害 状 況
平成 3年 1月18日	帯広市の日降雪量92cm。1月の日降雪量としては帯広測候所開設以来の記録。交通機関まひ。
平成12年1月7日～13日	帯広市の7日降雪量44cm、10日降雪量29cm、13日降雪量11cmの大雪。災害対策本部設置。
平成18年 3月30日	帯広市の降雪量38cm。湿った大雪により、農業施設8件などの被害。道路は国道4路線、道道1路線、高速2路線が通行止。JRは普通列車7本が運休、特急遅延。航空機は帯広発着の11便が欠航。
平成30年 3月1日	帯広市の降雪量47cm。急速に発達した低気圧が接近した影響で大雪となり、牧草を保管していた農舎が倒壊するなどの農業被害。道路は、国道3路線、高速3路線が通行止め。JRは特急11本を含む46本が運休。航空機は10便が欠航。市役所11階を休憩所として開放。また、3月8日から9日にかけては一変して大雨となり、1日の大雪とも相まって被害が拡大。管内各地では、河川の増水のほか雪崩や冠水による通行止め、JRも運休。帯広市内でも事業所の床上浸水4件などの被害が発生。

(注) 帯広市地域防災計画に記載しているものから、①人的、物的に大きな被害の出たもの、②災害対策本部を設置したもの、③震度、降水量など記録的なもの、など特筆すべきものを抜粋して記載する。

<資料> (市) 危機対策課